

令和5年度

姫路市商工会

経営発達支援計画

事業評価書

評価委員会実施日：令和6年2月7日

1. 地域の経済動向調査に関すること

【実施した事業内容】

① 調査計画の策定

- ・指導先 52 社への聞き取り調査を職員が分担して行った。

②調査の実施

- ・全国商工会連合会が四半期毎に行う「小規模企業景気動向調査」8 社／四半期
- ・姫路市商工会が独自に選定した指導先「地域経済景気調査」52 社／四半期

③集計・データ化

- ・調査に基づき、独自の報告書を作成。

参考データ：月例経済報告(内閣府)、中小企業景況調査データ（全国商工会連合会）
独立行政法人 労働政策研究・研修機構報告書
当会管内雇用情勢（ハローワーク姫路）

④集計データの公表

- ・姫路市商工会WEBサイト (<https://himeji-shoko.jp/>) にて公開

【当初の目標・実績】

	R5 年度 目標	12 月末 実績	今年度 予定	達成率 (年度末見込)
①地域の経済動向分析の公表回数	1 回	3 回	4 回	300% (400%)
②景気動向分析の公表回数	4 回	3 回	4 回	75% (100%)
兵庫県の動向調査	1 回	3 回	4 回	300% (400%)

【補足】

上記 3 調査全てに横断する項目を設けた調査書を作成。

それをを用いて、四半期ごとに当会指導先 52 社（内訳：サービス業 14 社、製造業 10 社、卸小売業 15 社、建設業 13 社）を対象に調査を実施した。

調査に基づいて、全国・兵庫県・当会管内の比較を施した景気動向調査報告書を作成し、当会 WEB サイトにて公開。

R5 年度は、4 月・7 月・10 月・1 月に調査を実施し、6 月・9 月・12 月・(3 月・予定) に報告書を公開した。

【事業評価】

事業評価	A	B	C	D	E
コメント等	原材料費、人件費の上昇分を価格転嫁できない中小・零細企業は多い。 大きく変化する景気動向をタイムリーに適時調査されている。				
【評価目安】	A：達成率 90～100%	B：達成率 70～89%	C：達成率 40～69%	D：達成率 1～39%	E：未着手 0%

2. 需要動向調査に関すること

【実施した事業の内容】

(1) 情報収集

①海外市場ニーズ調査として、(株) JTB が運用する「Buyee」を活用した越境 EC 「47storey(フォーティセブン)」(※1) で商品の出品支援を行い、EC サイトでの購入動向から各事業者の商品について需要調査を実施。(3 月末事業完了予定)

※1. (株)JTB が日本全国から商品を集めたインターネット上の海外向け Web ストア
<https://shop.buyee.jp/47storey?lang=ja>

②調査項目は、購買動機、購買障壁、価格帯、色、大きさ、見た目、パッケージ
商品選択時の優先項目、各商品に関する詳細な設問等

③Buyee

(日本やアメリカの EC サイトから商品を購入するサポートを世界中に届けるサービス)
会員数 478 万人、流通総額 807 億円

会員内訳：中華圏 40%、欧米諸国 (30%)、東南アジア (20%)、その他 (10%)

各圏域上位 5 か国

中華圏：台湾、香港 ※中国は含まない

欧米諸国：アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、カナダ

東南アジア：シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム

その他：スウェーデン、オーストラリア、サウジアラビア、ブラジル、メキシコ

会員構成

利用者年代比率：20 代 (63%) 30 代 (21%)、10 代 (7%)、40 代以上や 10 代未満 (9%)

男女比率 約 3 : 1

(2) 情報整理・分析・提供

- ①. 調査内容を経営指導員が分析し、当該支援事業所にフィードバック。
- ②. 調査内容に基づいて、今後の海外展開や商品開発に関する意向等を確認。
- ③. 今後の展開に際して専門的な支援を必要とする場合は、中小企業診断士等の専門家派遣による連携した相談対応が叶う旨を説明した。

【当初の目標・実績】

	R5 年度	実績 (見込含む)	達成率
① 新商品開発の調査対象事業者数	2 者	6 者	300%
② 新商品開発の調査対象者数	50 人	478 人	956%

※47STOREY アクセス数等は非開示情報のため、全会員数の 0.0001% (1 万人に 1 人) で概数算出

【補足】

対象事業者：(株) 下村酒造店、壺坂酒造 (株)、(有)キヤツスルレザー、ヤマサ蒲鉾(株)、
天晴水産(株)、日本玩具博物館

当該事業のプロモーションについては、下記のとおり。

羽田、成田、中部、関空、福岡の各国際空港の国際線到着口にあるインフォメーションセンター、
大阪のなんば（関空より直結）の観光案内所、東南アジアの日本好き会員（グループ会社管轄）
にそれぞれポストカードや SNS を通じて、47storey のストアサイトを訴求。

令和 4 年度姫路市入込客数・観光動向調査報告書 ([04kankodoukoutyousa.pdf \(himeji.lg.jp\)](https://www.himeji.lg.jp/04kankodoukoutyousa.pdf))

によると、「姫路市への外国人観光客数の国（地域）別の傾向として、アメリカ、シンガポール、台
湾、韓国、フランス、ドイツ、オーストラリアの順であった」（P.5「5. 外国人観光客数」より）と、
記載されている。

上記、Buyee 会員においても、アメリカやシンガポールは各圏域の上位国である。このことから、
WEB 上で商品に触れた顧客が姫路市を訪れるケースや、姫路市で当該商品に触れた後、自国で購
入に至るケースといった顧客動線の複線化が見込まれることから、当該事業のシナジーは高い
ものであると考える。

【事業評価】

事業評価	A	B	C	D	E
コメント等	個別具体的な需要動向調査が行えている。越境 EC に関しては県も重点を置いて いるものの小規模事業者にとっての参入障壁は高い。今回、28 商工会の中で 姫路市が県連事業を最もうまく活用し参加 14 事業所中 6 者をエントリーし た。事業所の意識の高さと職員の熱意に敬意を表したい。				
【評価目安】	A：達成率 90～100%	B：達成率 70～89%	C：達成率 40～69%	D：達成率 1～39%	E：未着手 0%

3. 経営状況の分析に関すること

【実施した事業内容】

- (1) 日々の窓口・巡回指導に伴う事業所内の課題の把握と指導 (令和5年12月末現在)

R5年度 巡回訪問件数	1,745
R5年度 窓口相談件数	2,649
R5年度 合計対応件数	4,394

※経営相談のみならず、税務・労務相談等の関連相談から経営相談に移り
経営状況分析に至ることも多々あるため、相談項目を問わず総数とした。

- (2) マル経融資等に伴う財務状況の把握と指導 8件 (令和5年度12月末推薦実績より)

また11月2日、(株)日本政策金融公庫姫路支店において開催されたマル経連絡協議会において、日本政策金融公庫の新型コロナウイルス感染症に関する取り組みや各団体との意見交換を実施。

- (3) 各種セミナーの開催により経営分析のスキルを身につけることで自社の経営状況を把握し今後の経営に活かすための一助とした。(主なセミナー)

開催日		セミナー	受講人数
令和 5年度	6/16	D X 推進セミナー	12名
	7月	ひめじ創業塾	25名
	11/10	経営計画策定セミナー	9名
	11/11	ビジネスシミュレーションゲーム研修会	10名

- (4) 専門家による個別相談事業 (各種専門家派遣事業、専門家窓口相談事業等)

※令和5年度 のべ91事業所 (計画書作成・商品開発・経営革新・持続化・ものづくり等)

【当初の目標・実績】

(令和5年12月末現在)

	R5年度目標	実績	達成率
①セミナー開催件数	3回	4回	133%
②経営分析事業者数	7者	28者	329%

※セミナー参加は無くとも、個別での相談対応にて補助金申請等のために経営分析を実施。

【事業評価】

事業評価	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> A B C D E </div>
コメント等	<p>経営分析とは、ヒアリングの中で内部分析や外部分析を行っていくものであり、それを踏まえ事業計画を策定していくものである。例えば設備投資計画を作成した場合、どの設備を導入するか等を見極めたうえで行っている為、計画が作成されている＝分析ができています。</p> <p>よって経営分析の数は、事業計画策定件数よりイコールもしくは多いものとなる。目標設定（内部目標等）を上げるという条件付きでA評価とする。</p>
<p>【評価目安】 A：達成率 90～100% B：達成率 70～89% C：達成率 40～69%</p> <p>D：達成率 1～39% E：未着手 0%</p>	

4. 事業計画策定支援に関すること

【実施した事業内容】

(1) 創業・第二創業支援

当会管内は小規模事業者が年々廃業し、創業件数を上回っている。創業件数の増加により小規模事業者の減少を食い止めるため、姫路市の特定創業支援等事業として創業塾を開催した。セミナーでは参加者全員が開業計画書を作成し、必要に応じて専門家による個別相談を実施。

(2) 経営計画・経営革新計画作成セミナーの開催

開催日		セミナー	受講人数
令和 5年度	6/16	D X 推進セミナー	12名
	7月	ひめじ創業塾	25名
	11/10	経営計画策定セミナー	9名
	11/11	ビジネスシミュレーションゲーム研修会	10名

※事業承継セミナーについては、参加者が集団指導を忌避する傾向があること、また個々に需要や対応が異なることから、セミナーを開催せず、個別に事業承継計画策定を支援。

(3) 巡回・窓口支援等

マル経融資や確定申告、補助事業の相談時に経営分析を実施。事業計画の策定が可能な事業者については策定を推進した。

(4) 各種補助金及び認証制度申請からの事業計画策定

経営革新計画、経営力向上計画等の認証を目指し、経営分析を行った小規模事業者を対象に事業計画策定を支援した

(各種補助金申請相談数及び申請件数 ※のべ数値) (令和5年12月末現在)

補助金等名称	相談事業者数	のべ相談件数	のべ申請件数
小規模事業者持続化補助金	17	68	17
事業再構築補助金	4	24	2
ものづくり補助金	2	5	0
新事業展開応援事業補助金	3	12	3
姫路市起業家支援助成金	1	4	1
兵庫県起業家支援助成金	1	4	1
合計	28	117	24

申請件数を事業計画策定件数として計上。

【当初の目標・実績】

	R5 年度目標	実績	達成率
①DX推進セミナー	1回	1回	100%
②事業計画策定セミナー	1回	1回	100%
事業計画策定事業者数	4者	6者	150%
③創業塾	1回	1回	100%
事業計画策定事業者数	3者	9者	300%

【事業評価】

事業評価	A	B	C	D	E
コメント等	各種補助金の計画作成は実績に含める。補助金の申請書＝事業計画書である。例えば持続化補助金の計画作成は、事業計画作成件数である。セミナー等を受講していない方でも、対象とする為、次年度以降はカウントの仕方を見直してほしい。目標値は達成できている為、評価はAとする。				
【評価目安】	A：達成率 90～100% B：達成率 70～89% C：達成率 40～69% D：達成率 1～39% E：未着手 0%				

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

【実施した事業の内容】

(1) 支援プログラム作成

経営革新認定支援・小規模事業者持続化補助金申請支援等、各種申請の際に経営計画を策定した小規模事業者に対して、各職員が個別に支援を行っているものを、組織で統一し共有できるように取り組んでいるが、未だ完了していない。

経営支援情報共有については、商工会のシステムを活用し、各種補助金申請や事業計画を内部共有かつアーカイブ化し、重複する市場データ・外部環境、補助事業計画等を有効活用できる仕組みを構築した。また、検索機能も備わっている為、必要な計画の情報を効率よく入手することが可能となった。支援ノウハウ、支援案件・申請案件の重複箇所等の流用・参考が叶う仕組みづくりにより商工会内でのDX推進を実現している。

これにより、同様の相談案件等への対応が早まり、支援精度の個人差も是正できるものと考ええる。

(2) ブラッシュアップ

策定した事業計画書に応じて、経済状況や需要動向に合っているかを確認し、課題解決に繋げている。専門的的案件については、適宜専門家相談に繋げている。

各種補助金申請や経営革新申請などにもつなげている。

(3) フォローアップ・PDC Aサイクルの実現

令和5年度にこれまでの補助金申請事業者及び創業支援者を巡回訪問し、適宜専門家相談等に繋げるなどのフォローを行い、事業計画の見直しを実施した。

【目標及び実績】

	R4 年度目標	実績	達成率
フォローアップ対象事業者数	13 者	37	285%
頻度 (延回数)	30 回	111	370%
売上増加事業者数	1 者	4	400%
利益率 3%以上増加の事業者数	1 者	4	400%

【事業評価】

事業評価	A	B	C	D	E
コメント等	数字としては通常、分析数が最も大きく、計画策定された事業所≧フォローアップとなるように設定する。少し目標値が低いと考えられる。 計画策定と同じかやや少ない程度で目標設定が望ましい。 評価はAとする。				
【評価目安】	A : 達成率 90~100%	B : 達成率 70~89%	C : 達成率 40~69%	D : 達成率 1~39%	E : 未着手 0%

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

【実施した事業の内容】

展示会出展事業（B to B）

①. 「バーチャル展示会 2023」の開催

開催期間：令和5年9月1日から令和6年2月29日（WEBサイト公開）

集中商談会：令和5年9月14日（木）、15日（金）

商談会会場：楽通株式会社（姫路市三条町2-13）

出展事業者数：65社（内、福崎町4社、市川町3社、神河町4社）

WEBサイトアクセス数：8,170件、商談申込件数：25件、成約件数：1件（R5.12月末現在）

（内容）

新型コロナウイルス感染症の影響により対面型の展示会への参加や商談が難しい状況を鑑みて、新たな営業・販促活動策としてWebサイトを立ち上げ「バーチャル展示会」を開催した。商工会のスケールメリットを生かし、中播磨地区商工会連絡協議会と共催し各地域からの出展・広報を図った。また本年度は出展事業所を対象に、商談成約率を高めるためのPR方法等を学ぶ「PR力向上セミナー」の実施やバーチャル展示会のPRとして、国際フロンティア産業メッセへの出展を行うことで、広く周知を図った。

②. 地域産品掘り起こし事業

会員事業所の商品や製品の展示会出展を支援した。具体的内容は下記

Food Style Kansai 2024 出展 (https://foodstyle.jp/kansai/_outline/)

開催日：令和6年1月24日（水）25日（木）

会場：インテックス大阪1・2号館

来場見込：18,029名（FOODSTYLE 関西 2023 実績より）

出展事業者：2社（名城酒造（株）、（有）戎水産）

海外市場ニーズ調査

（株）JTBが運用する「Buyee」を活用した越境EC「47storey（フォーティーセブン）」（※1）で商品の出品支援を行い、ECサイトでの購入動向から各事業者の商品について需要調査を実施。（3月末事業完了予定）

※1. （株）JTBが日本全国から商品を集めたインターネット上の海外向けWebストア

<https://shop.buyee.jp/47storey?lang=ja>

対象事業者：（株）下村酒造店、壺坂酒造（株）、（有）キャツスルレザー、ヤマサ蒲鉾（株）、天晴水産（株）、日本玩具博物館

令和4年度姫路市入込客数・観光動向調査報告書 ([04kankodoukoutyousa.pdf](https://www.himeji.lg.jp/04kankodoukoutyousa.pdf) ([himeji.lg.jp](https://www.himeji.lg.jp/)))によると、「姫路市への外国人観光客数の国（地域）別の傾向として、アメリカ、シンガポール、台湾、韓国、フランス、ドイツ、オーストラリアの順であった」（P.5「5. 外国人観光客数」より）と、記載されている。

Buyee 会員においても、アメリカやシンガポールは各圏域の上位国である。このことから、WEB 上で商品に触れた顧客が姫路市を訪れるケースや、姫路市で当該商品に触れた後、自国で購入に至る等の顧客動線の複線化が見込まれることから、当該事業のシナジーは高いものであると考える。

※前述「2. 需要動向調査に関すること」内容と重複するため、一部を記載する。

販路開拓事業（B to C）

①. プレスリリース支援個別支援

兵庫県商工会連合会チーフアドバイザー（以下、CA）派遣制度を活用した。

支援事業者数：1社（株式会社高谷工務店）、のべ支援回数：3回

令和5年8月24日（木）関西テレビ放送「よ〜いドン！」で放映された。

また、兵庫県が主催し（株）毎日放送が協力して実施する学生向けワークショップ「SDGs 動画制作」にも同社が選定された。R6年3月11日（月）兵庫県立津ミュージアムにて、兵庫県知事等を前に発表会が開催され、同内容が毎日放送（MBS）等で放映予定である。

②. DX推進（Google ビジネスプロフィール）セミナーの開催

開催日：令和5年6月16日（金）

会場：姫路市商工会香寺支所

講師：土原翔吾氏

出席者：12名

本セミナーでは、中小企業の周知活動・販路拡大において活用の幅が広い「Google ビジネスプロフィール」について、取組事例を交えつつ講義を行った。参加事業者の販路拡大・経営規模拡大に繋げることを目的し、かつ販促手法のIT化によるDX推進への意識付けも行った。

フォローアップとして、Google ビジネスプロフィールの活用およびDX推進に向け兵庫県商工会連合会のIT支援員制度を活用し、7社をのべ10回支援。

【目標及び実績】

支援内容	R5年度	実績	達成率
①「バーチャル展示会」出展事業者数	60者	65者	108%
成約件数	1者	1者	100%
②地域産品掘り起こし／調査数 ※展示会出展	10者	8者	80%
売上増加率／者（※）	2%	-	-
③プレスリリース支援個別相談会参加事業者数	2者	1者	50%
成約件数	1者	1者	100%
④DX推進セミナーの開催	1回	1回	100%
SNS活用事業者	1者	7者	700%
売上増加率／者（※）	-	-	-
ネットショップの開設者数	1者	-	-
売上増加率／者（※）	-	-	-

（※）初年度や2年目での売上増加は困難であるため、令和6年度以降の実績を目標にする。

【事業評価】

事業評価	A B C D E
コメント等	非常によく取り組んでいると言える。評価はAとする。 展示会や調査、セミナー、プレスリリース支援など、幅広い取り組みが行われている。特に、少子高齢化が進む日本社会において、海外市場への進出支援は、今後ますます重要になると考えられる。

【評価目安】 A：達成率 90～100% B：達成率 70～89% C：達成率 40～69% D：達成率 1～39% E：未着手 0%
--

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

【実施した事業の内容】

①評価委員会の開催

当会の理事会と併設して、姫路市観光経済局長、兵庫県商工会連合会広域指導センター所長、外部有識者として中小企業診断士 1 名、但陽信用金庫香呂支店長及び西兵庫信用金庫夢前支店長、当会事務局長及び法定経営指導員各 1 名をメンバーとする「評価委員会」を年 1 回開催し、経営発達支援事業の進捗状況等について評価を行う。

②評価結果の公表

当該協議会の評価結果は、役員会にフィードバックした上で、事業実施方針等に反映させるとともに、HPへ掲載（年 1 回）することを計画しており、本評価委員会終了後速やかに公表を行った。

【事業評価】

事業評価	<input checked="" type="checkbox"/> A	B	C	D	E
コメント等	当日の会議だけではなく、事前の準備等も入念に行っており、評価できる。 評価委員会開催そのものがこの項目にあたるため、評価はAとする。				
【評価目安】	A：達成率 90～100%		B：達成率 70～89%		C：達成率 40～69%
	D：達成率 1～39%		E：未着手 0%		

8. 経営指導員等の資質向上等に関すること

【実施した事業の内容】

外部講習会等の積極的活用

①. 兵庫県商工会連合会が主催する商工会役職員等研修会

経営指導員及び一般職員の支援能力の一層の向上のため、経験年数や職歴を考慮し、計画的に職員を派遣した。

(受講研修一覧・受講人数)

研修日	研修内容	受講人数
6月2日・3日	チーフコーディネーター研修	1名
6月20日・21日	商工会管理者研修	1名
6月26日	労務研修会	2名
6月27日	共済担当者研修会	2名
6月29日	支援力強化研修会	1名
7月14日	労務研修会	1名
8月18日	管理マネジメント研修	1名
8月22日	管理マネジメント研修	1名
9月15日	キャリア研修会	2名
9月22日	キャリア研修会	2名
10月11日	コミュニケーション研修会	3名
11月29日	生産性向上につなげるSDGs研修会	1名
12月14日・15日	チーフコーディネーター研修	1名
1月30日	職員税務研修会	4名
2月8日・9日	チーフコーディネーター研修	1名
2月9日	商工会管理者研修会	1名

(オンデマンド研修)

研修内容	受講人数
D X支援	4名
インボイス研修	3名

②. 経営指導員等WEB研修システム

小規模事業者のニーズの高度化・専門化に対応、提案型支援スキルの取得のため、全国商工会連合会が運営する本研修システムを活用し支援ノウハウの習得を図った。

③. 職員事例発表大会

兵庫県商工会連合会の職員が一堂に会し、それぞれの事例を発表する本大会についても積極的に参加することで支援の幅を広げた。受講者数：3名

また、近畿地方各府県の職員代表が出席した近畿大会の視察を行い支援力の向上を図った。受講者数：1名

④. 中小企業大学校が主催する研修会

更に事業計画の策定件数の増加と、そのための支援能力の向上が指摘されているため、中小企業大学校が実施するセミナーへ毎年1人以上参加するように努めた。

(R5 年度受講実績)

研修日	研修内容	受講人数
5月29日～(19日間)	経営診断基礎	1名
11月28日～(19日間)	税務・財務研修	1名

⑤. O J T 制度の導入

支援経験の豊富な経営指導員と、経験が浅い職員や支援業務に携わってこなかった一般職員がチームを組成し、巡回指導や窓口相談の機会を活用してO J Tを積極的に実施し、組織全体としての支援能力の向上を図った。

⑥. 職員会議の開催

支所の職員を含め全員が一堂に会し職員会議(月1回、年間12回)を開催。

業務に係る情報を共有することはもとより、職員が経営支援事例を発表し、そのノウハウや情報を共有した。担当外の業務についても見識を深めるとともに、意見交換等を行うことで、職員の支援能力の向上を図った。

⑦. データベース化

担当職員等が基幹システム上のカルテ入力管理を徹底し、月次報告等の仕組化を図った。データ入力を適時・適切に行い、支援中の小規模事業者の状況等を職員全員が相互共有できるようにすることで、担当外の職員でも初見レベル以上の対応ができるようにしていきたい。

経営支援情報共有については、商工会のシステムを活用し、各種補助金申請や事業計画を内部共有かつアーカイブ化し、重複する市場データ・外部環境、補助事業計画等を有効活用できる仕組みを構築した。また、検索機能も備わっている為、必要な計画の情報を効率よく入手することが可能となった。支援ノウハウ、支援案件・申請案件の重複箇所等の流用・参考が叶う仕組みづくりにより商工会内でのDX推進を実現している。

⑧. 関係機関等が開催する研修会

近畿経済局や兵庫県、金融機関や民間企業等が開催する下記研修会に参加した

研修日	研修内容	受講人数
5月12日	兵庫県中小企業融資制度等説明会	1名
6月21日	「いまから始める越境EC」セミナー	2名
7月14日	商工災害に関する説明会	1名
9月22日	但陽信用金庫 知的資産経営セミナー	1名

【事業評価】

事業評価	<input checked="" type="checkbox"/> A B C D E
コメント等	上部団体や事業団の研修への積極的な派遣、OJTの充実、補助金申請のデータベース化など、さまざまな取り組みを実施している。特に、補助金申請のデータベース化は、経験の浅い職員でも均一的なサービスを提供できるという点で今後も改良の継続を期待。継続的な取り組みにより、経営指導員等のスキルを向上させ、小規模事業者の経営改善を支援する体制を強化してほしい。
【評価目安】	A：達成率 90～100% B：達成率 70～89% C：達成率 40～69% D：達成率 1～39% E：未着手 0%

9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

【実施した事業の内容】

①. 経営改善貸付連絡協議会

当会金融審査委員が令和5年11月2日、(株)日本政策金融公庫姫路支店管内の商工会や商工会議所等を対象に開催される経営改善貸付連絡協議会に参加。

管内の小規模事業者の現状・経営環境、資金状況等について情報交換・収集を行い、広範囲の経済動向や需要動向を把握し、経営発達支援事業に活用して小規模事業者への支援につなげた。

②. 地域金融機関との連携

R5年9月22日、但陽信用金庫主催の「知的資産経営支援セミナー」に職員が参加。

ローカルベンチマーク非財務部門や経営デザインシートの活用について学んだ。

セミナーの開催等の告知においては、管轄内金融機関に告知協力を要請するなど、小規模事業者支援をより効果的に実施した。

地域金融機関全体を介しての情報交換会は無いが、(株)日本政策金融公庫姫路支店とは11月2日に小規模事業者経営改善資金（マル経）連絡協議会及び11月17日に冬季一日金融相談会後の情報交換会において、地域の経済や需要動向、金融動向等の情報を共有した。

また、但陽信用金庫香呂支店・溝口支店とは、年3回金融状況の情報交換を行った。

次年度以降も、地域の経済、金融動向等の情報を共有し地域の需要動向、支援ノウハウ等について有益な施策等について情報交換を行いたい。

③. 中播磨地区の商工会との連携

福崎町商工会館にて中播磨地区商工会職員間での勉強会と意見交換会を実施した。R5年10月6日に「業務効率を上げる無料アプリ活用セミナー」を、同13日には経営支援に関する事例やノウハウについての意見交換、同20日には総務課職員間で、事務作業の効率改善等に関する意見交換会を実施した

また、前述のとおり「バーチャル展示会」では中播磨地区からも新規出展事業者が3社あり、集中商談会会場には各商工会担当職員も来場し会員事業所のフォローを行う等、連携した事業実施が叶った。

④. 行政との情報交換

令和5年10月24日、姫路市役所秘書課応接室において、和田副市長ならびに大前観光経済局長、中尾部長と姫路市商工会会長はじめ役職員3名による地域経済に関する懇談会を開催。地域商工業者支援について意見を交換し、双方にとって実りのある取組に向けた意識の醸成が図れた。

⑤. 専門家・他の支援機関との情報交換

会員事業所への専門家派遣時には職員が同席し専門家と情報交換を行った。セミナー開催なども同様に情報交換を行っている。各種支援機関とも情報交換を行っている。

【令和5年度】

	専門家等連携事業	詳細指導	相談者 (のべ件数)
経営一般	情報発信支援員派遣	DX 推進、SNS 活用、GBP 活用 業務改善、生産性向上	10
	チーフアドバイザー派遣事業	プレスリリース、経営改善計 画立案、海外展開	6
	事業環境変化対応型支援事業	ものづくり補助金、小規模事 業者持続化補助金、事業再構 築補助金、新事業展開応援事 業、経営力向上計画立案等	51
	新型コロナ相談窓口強化事業	新規創業、法人設立、準確定申 告、相続税相談、法人解散、事 業承継、就業規則整備、労働環 境改善、業務改善補助金、新規 雇用準備、2024 年問題相談	24

【事業評価】

事業評価	A B C D E
コメント等	他の支援機関とよく連携できていると言える。 評価はAとする。
【評価目安】 A：達成率 90～100% B：達成率 70～89% C：達成率 40～69% D：達成率 1～39% E：未着手 0%	

10. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

【実施した事業の内容】

①. 銀の馬車道を活用した地域おこし

兵庫県中播磨県民センターと中播磨地区の商工会や行政等で構成する「銀の馬車道ネットワーク協議会」と連携し、地域の小規模事業者に地域資源や観光資源のPR活動を行い、地域経済の活性化に取り組んだ。具体的な実施内容は下記のとおり

事業名称	実施日	会場	内容
企業向け異文化コミュニケーション現地研修	R5年 11月24日・ 25日	(株)久斗鉄工所 夢乃井	企業内での課題（異文化理解・誤解など）についてのヒアリングを行うとともに質疑応答を行った
異文化コミュニケーションセミナー	R5年 12月9日	市川町文化センター コミュニティホール	NPO 法人モンターニュ理事・レティシア・ルヌブ氏を招き、異文化理解や実践できる異文化コミュニケーションスキルについて講演を行った
姫路城マラソンおもてなし	R6年 2月10・11日	姫路大手前公園	当該マラソンランナーへのおもてなしによる銀の馬車道事業PR
姫路城マラソン足湯のふるまい	R6年 2月11日	姫路大手前公園	当該マラソンランナーへの足湯ふるまいによる塩田温泉郷のPR

②. はりまもちこ倶楽部の支援

はりまもちこ倶楽部への支援として、今後の自走化に向けた伴走支援を実施した。

具体的な支援内容は下記のとおり

実施日	内容
5/31 (水)	<ul style="list-style-type: none"> 当該事業のコンセプトとドメイン（誰に、何を、どのように）を再確認、及び整理を進め、意識等の共有を組織全体で図るよう促した。 粉のみならず製品販売を希望。商品案や販売チャネルについて相談対応。 中国道の市川SAや各種イベントにて、クッキーやマカロンの販売開始。 販売における注意点やPL保険加入等の相談対応
6/16 (金)	
6/20 (火)	
9/12 (火)	

【事業評価】

事業評価	A	B	C	D	E
コメント等	地域経済活性化に関する取り組みは、概ね現状で良いと考える。 経営発達支援計画は、事業者の支援のものである為現状維持で問題ない。 よって評価はAとする。				
【評価目安】	A：達成率 90～100%	B：達成率 70～89%	C：達成率 40～69%	D：達成率 1～39%	E：未着手 0%

次年度に向けての取組みについての総評

全項目がA評価（条件付きも含む）となっており遂行状況としては良いと言える。

当計画は、役職員が一丸となって地域経済に好循環を与えるものである。役員の方には、職員のモチベーション維持・向上への協力をお願いしたい。

研修等についてもモチベーションが高ければ吸収率は良いものと考えられる。そのため、モチベーションの維持向上は重要であると考えられる。当計画には記載がないが、商工会地域の経済活性化を進めるために、役員の方にも職員のモチベーション維持等に積極的に協力をお願いしたい。